法学部

Division of Law

法律学科

社会で役立つ法律の知識、論理的思考力、問題解決能力を養成。

法律学科ではさまざまな問題に対処し多くの人が納得する解決策を導き出せる、緻密な論理的思考力を持った人材を育成します。また、法曹界はもちろん、幅広い進路に応用できる普遍性を持った法律の知識を身に付けます。

教育の方針

アドミッション・ポリシー［入学者受入の方針］

入学までに形成される個性と多様性を発展させることを重視し、現代社会に生じる法的･政治的問題やその解決を思索する意欲･能力を有したものを受け入れる

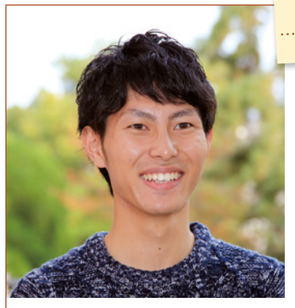
カリキュラム・ポリシー［教育課程編成・実施の方針］

1. 専門科目への円滑な移行を可能にする入門科目の導入
2. 専門学智の習得を可能にする一貫した講義の配置
3. 法学･政治学における専門的学智と識見を修めるための体系的高度な講義
4. 専門学智と批判的思考力を体得するための双方向的少人数ゼミナール形式の教育
5. 学生の多様な意欲と価値観に応じた教育を可能にする専門演習

ディプロマ・ポリシー［学位授与の方針］

1. 法学及び政治学の専門学智を基礎に、多様な価値観の理解と、批判的思惟の力を身に付けている
2. 現代社会の動態をみつめ、あらたな秩序構成に寄与できる識見を有する
3. 変容する現代社会に対する批判的思考力を具えている
4. 多方面にわたる社会活動に貢献することができる

Student's Voice 在学生の声



法律を理解することで身の回りの出来事に対して主体的に考えられるようになりました。

法学部法律学科2年
（鹿児島県･加治木高等学校出身）
湯ノ谷 直人さん

法学部は、民間の就職に対しても実績が高く、さまざまな角度から将来を選択できることに魅力を感じました。学びを通して将来のビジョンを明確にできると思います。法律をベースに日々学んでいますが、面白いのは「民法」です。日常で実際に起こった事例をテーマにして法解釈を広げていくと、身の回りのことが法律に深く関わっていることに気がつきました。最近では、世の中で起きていることを主体的に考えられるようになり、政治の仕組みをより理解できるようになったことで面白さが増し、やる気も向上しています。これからも法学を通していろいろな価値観や考えを広げたいと思います。

大学に入って始めたこと・今後の目標

［ サークルとボランティア活動 ］

クラシックギターを始めました。まだまだ難しいですが、合奏で一つの曲が出来上がった時の達成感は何ともいえない素晴らしさがあります。また、ボランティア活動にも参加し、大学時代により多くの経験を積んで将来の進路設計に役立てていきたいと思っています。

Student's Voice 在学生の声

法律の世界に邁進。教室を飛び出し、社会に触れる実践的な学びも。

法学部法律学科3年
（沖縄県･興南高等学校出身）
仲村 萌さん

進路を決める時に将来やりたいことが明確ではなかったため、幅広く学べ、将来の可能性が広がりそうな法律学科を志望しました。座学で暗記することが多いイメージがありましたが、調べ、考え、論理的に組み立て、積極的に取り組んでいます。「専門演習」という授業では、公文書館見学や市役所等に行政調査に行くなど、教室を飛び出す機会もあり、その結果をパワーポイントで資料にまとめ、みんなで議論を交わすことも多く、自分の意見を持つことの大切さを感じています。今後は、公務員試験の勉強も視野に入れつつ、奥深い法律の世界を学んでいきたいです。

2年生のときの時間割

	月	火	水	木	金
1	企業金融法	環境の科学	キリスト教学Ⅱ	企業金融法	心理学Ⅱ
2	行政法総論	専門演習Ⅰ		行政法総論	生命科学Ⅱ
3	憲法Ⅰ			憲法Ⅰ	日本民俗学B
4	民法（債権総論）			民法（債権総論）	
5					

学科の特色

早い段階で法律の全体像を掴み、自由度の高い科目選択へ。

1年次の入門科目を通じて、日本国内の法律の基本となる知識を学び、法律の全体像を掴むことを目指します。

国際的なカリキュラムも受講可能

法律学科に在籍していても、国際関係法学科の科目を受講可能。国際法をはじめ、充実した国際法関係科目群をより多く履修することで、幅広い視点を養うことができます。

思考力や議論する力を養成

基礎演習でディベートを行い、論理的な説得力を持った議論ができる能力を身に付けます。そして専門演習で本格的な分析やプレゼンテーションに取り組みます。

カリキュラムのPOINT

知識、思考力、専門性をバランス良く養う。

法律学科では、1年次で幅広い入門科目で法律の全体像を掴むことにより、2年次以降に多くの専門的な法律科目を学ぶ準備をします。また、「基礎演習」のディベートで養った力をもとに、2～4年次では「専門演習」において深い知識と分析力、プレゼンテーション能力を身に付けます。

カリキュラム

Zoom in! 01 85ページ　Zoom in! ［本学科の注目科目をご紹介］

専攻科目

導入科目	大学生らしい学習へジャンプ!	●法律学の基礎　●民法入門　●刑事法入門　●手続法入門　●国際関係法入門
基本法律科目	法律学科生の基礎素養。法科大学院進学、公務員試験・各種資格試験の準備に。	●憲法Ⅰ（総論･統治機構）　●憲法Ⅱ（基本的人権）　●司法制度論　●行政法総論　●行政救済法　●刑法Ⅰ（総論）　●刑法Ⅱ（各論）　●刑事手続法（刑事訴訟法）　●刑事政策　●民法（総則）　●民法（物権）　●民法（債権総論）　●民法（契約法）　●民法（親族･相続）　●民法（不法行為等）　●会社法Ⅰ（企業組織法）　●会社法Ⅱ（企業金融法）　●民事手続法Ⅰ（判決手続）　●国際法Ⅰ　●法哲学Ⅰ　●法哲学Ⅱ　●法制史　●法社会学
発展法律科目	各人の関心に応じて。各種試験のなかにはこの中から出題されることも。	●個別的労使関係法　●団体的労使関係法　●経済法　●社会保障法　●地方自治法　●租税法　●租税手続法　●企業取引法Ⅰ（商法総則）　●企業取引法Ⅱ（商取引法）　●企業取引法Ⅲ（保険法･海商法）　●金融法Ⅰ（企業決済法）　●金融法Ⅱ（金融商品取引法）　●民事手続法Ⅱ（民事執行･保全法）　●民事手続法Ⅲ（倒産処理法）　●少年法　●知的財産法（概論）　●知的財産法（応用）　●国際法Ⅱ　●国際関係私法概論　●国際私法Ⅰ（総論･家族法）　●国際私法Ⅱ（財産法）　●国際取引法　●国際民事手続法
国際関係法･政治学科目	政治学と法学は伝統的に深い関係にあります 各人の関心に応じて。	●国際人権法　●国際環境法　●海洋法　●模擬国際裁判　●政治学原論　●国際関係史　●国際政治学　●国際政治経済論　●平和研究　●政治史　●日本政治論　●比較政治学　●地域研究Ⅰ（アジア太平洋）　●地域研究Ⅱ（アメリカ）　●地域研究Ⅲ（ヨーロッパ）　●社会科学総合講座　●政治思想史　●行政学　●地方自治論　●国際協力論　●国際開発論　●国際取引法発展　●外国法Ⅰ　●外国法Ⅱ　●外国法Ⅲ　●外国法Ⅳ　●外国法Ⅴ　●外国法Ⅵ　●国際組織法　●地域共同体法　●国際経済法　●国際紛争解決法　●国際知的財産法
専門語学科目		●英書講読Ⅰ　●英書講読Ⅱ　●英書講読Ⅲ　●英書講読Ⅳ　●英書講読Ⅴ　●英書講読Ⅵ　●英書講読Ⅶ　●英書講読Ⅷ　●専門外国語ⅠA（ドイツ）　●専門外国語ⅠB（ドイツ）　●専門外国語ⅡA（フランス）　●専門外国語ⅡB（フランス）　●専門外国語ⅢA（ロシア）　●専門外国語ⅢB（ロシア）　●専門外国語ⅣA（中国）　●専門外国語ⅣB（中国）　●専門外国語ⅤA（韓国）　●専門外国語ⅤB（韓国） 日本有数の国際関係法学科と共通の科目
演習･実務関連科目	基礎演習では頭の使い方、資料の使い方を学ぶ。	●基礎演習◎　●専門演習Ⅰ　●専門演習Ⅱ　●専門演習Ⅲ　●専門演習Ⅳ　●弁護士実務からみた法学　●応用法律学（法の理論と実務）　●応用法律学（公法）　●応用法律学（刑事法）　●応用法律学（民事法Ⅰ）　●応用法律学（民事法Ⅱ）
関連科目	公務員試験で出題される科目もある。	「ミクロ経済学」や「マクロ経済学」などの経済学部科目、「経営学」や「会計学」などの商学部科目に限らず、その他の学部学科の専攻科目から数多くの科目を選択できます。 Zoom in! 02 85ページ

共通科目

キリスト教学	人文科学	社会科学	自然科学	スポーツ科学	外国語
●キリスト教学Ⅰ･Ⅱ◎　●キリスト教人間学A･B	●西南学院史　●哲学　●倫理学　●論理学　●日本史学　●東洋史学　●西洋史学　●美術史　●日本文学　●西洋文学A･B　●中国文学　●音楽史　●心理学Ⅰ･Ⅱ	●経済学　●政治学　●地理学概論　●同和問題論　●社会学Ⅰ･Ⅱ　●国際関係論　●人権問題論	●数学入門Ⅰ･Ⅱ　●物理学入門Ⅰ･Ⅱ　●地球科学Ⅰ･Ⅱ　●生命科学Ⅰ･Ⅱ　●環境の科学Ⅰ･Ⅱ　●情報数学Ⅰ･Ⅱ　●生活の化学Ⅰ･Ⅱ　●環境地理Ⅰ･Ⅱ　●自然科学概論Ⅰ･Ⅱ	●スポーツ理論Ⅰ･Ⅱ　●スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ	●英語◎　●フランス語　●ドイツ語　●中国語　●韓国語　●イタリア語 など

※◎印は必修

Zoom in! 01

［ 知的財産法（概論）］

知財に関する制度のあり方、及び知財に関する紛争事案の法規範を用いた処理の二つを中心に学びます。とりわけ基本的な問題につき事案処理ができるようになる力を養います。

Zoom in! 02

［ 応用法律学 ］

法曹を目指そうとするなどの高い目標を持つ学生の力を伸ばす目的で、弁護士や法科大学院教員によって行われる少人数教育。

教員プロフィール

有田 謙司 教授 労働法（特に、労働契約、雇用保障法）	**宮崎 幹朗** 教授 民法（家族法）	**奥 博司** 教授 司法制度と社会の関係に関する基礎的考察および民事手続法の解釈論	**藤林 大地** 准教授 商法（会社法、金融商品取引法）	**倉見 智亮** 准教授 税法（特に、所得課税の基礎理論について）
一ノ澤 直人 教授 商法（会社法、特に取締役に関する法制度）	**毛利 康俊** 教授 法哲学（特に社会システム論に基づいた議論）	**齊藤 芳浩** 教授 憲法（特に、憲法の法源論、憲法解釈論）	**福永 俊輔** 准教授 刑法、刑事訴訟法（共犯論、共謀共同正犯をめぐる手続上の問題）	**前田 敦** 准教授 民法（財産法）
小林 博志 教授 行政法（行政組織法、行政紛争の解決の方法）	**村山 淳子** 教授 民法、医事法、特に医師と患者の法的関係の解明	**勢一 智子** 教授 行政法、環境法、環境分野における学際的研究	**平井 佐和子** 准教授 刑法、刑事政策（特に女性･子どもをめぐる刑事法的対応について）	**田中 慎一** 准教授 商法（会社法、特に取締役の責任）
小山 雅亀 教授 刑法、刑事訴訟法、特に検察制度論、刑事法律扶助制度論	**奈須 祐治** 教授 憲法、特に表現の自由論	**田中 英司** 教授 民法（財産法）、特に、不動産利用権、不動産所有権に関する法的問題	**原 謙一** 准教授 民法（財産法）	**山田 憲一** 准教授 知的財産法

主なゼミテーマ

- 現代労働法の諸問題
- 民事手続法演習
- 具体的事例及び模擬裁判から行政法を理解する
- 憲法解釈の諸問題
- 契約をめぐる法の問題について
- 刑事法の現代的課題
- 医事法判例研究
- アートと法
- 民事手続法演習
- 税法とプレゼンテーション
- 憲法から読み解く現代的諸問題
- 社会と道徳

※主なゼミテーマは、2016年度開講のものを記載